



新型コロナ 一体いつまで続くの？

一体いつまで不自由な生活が続くの？終わりは、いつやってくるの？そのときは、元どおりの生活ができるの？切実なギモンについて、医療や科学が専門の中村幸司解説委員に聞きました。

(7月30日 NHK)

Q. これまでに人類が撲滅できた感染症はあるのでしょうか？

A. 1980年にWHOが根絶宣言をした天然痘です。ワクチンができ、効果も長い期間続くものだったので世界中の人たちに接種が進められた結果、撲滅できました。

そして、SARSについては流行を終息させることができました。SARSは今回と同じコロナウイルスの一種ですが、症状が重いので、感染した人がすぐわかります。

このため、比較的封じ込めがしやすく、世界中に広がるのを防ぐことができました。

Q. 新型コロナは今後どのような立ち位置になっていくのでしょうか。

A. 天然痘みたいに撲滅はできないだろうとみられています。これだけ地球の隅々までウイルスが広がっているの、ウイルスをなくすことはおそらくできないだろうと。その原因の1つはウイルスが変異しているからです。ウイルスに感染して免疫を獲得したり、ワクチンを打ったりしたとしても、次の変異したウイルスにかからないとは限りません。インフルエンザのように繰り返しかかる感染症になるかもしれないという専門家もいます。

Q. 終わりはいつくるの？

A. 世界中から感染者が一人もいなくなる「終息」には多分ならなくて、「収束」を目指すということになると思います。開発されたワクチンは効果が高いので、ワクチンを打った人が多くを占めるようになると、感染が拡大しなくなるという考え方です。ただ、ワクチンの効果がまだはっきりとわかっていません。感染や発症、重症化を防ぐ効果は高いとされていますが、その効果がどれくらいの期間続くのかということ。半年なのか、1年なのか、それ以上なのか。あと、今後のものも含め、変異ウイルスにどれくらい効果があるのかです。なので、インフルエンザのワクチンのように毎年定期的に接種することになるかもしれません。

Q. ワクチン接種後はマスクを外していいんですか？

A. ワクチンを接種後、2週間ぐらいするとだいたい抗体ができるといわれています。でも、100人中100人全員がワクチンが効くとは限りません。あと、人口の何%の人がワクチンを接種したのかも、どこまで対策を緩められるかの判断に影響すると思います。マスクを外すということは、元の生活に戻ったという象徴的な意味合いを持つと思います。国や専門家が「マスクを外していい」といつだったら言えるのか、そのタイミングは相当難しいと思います。しかし、ワクチンに加えて、治療薬ができれば状況は大きく変わると思います。治療薬は世界中で開発が進められています。今はワクチンに注目が集まっていますが、治療薬の開発の行方も収束あるいは日常に戻れるかどうかに関わることになるかもしれません。

オリンピックニュース

香川県がフェンシング・宇山賢選手に「知事表彰」贈呈へ

高松市出身の宇山賢選手は、東京オリンピックのフェンシング男子エペ団体に出場し、金メダルを獲得しました。特別功労の知事表彰はこれまでに国の文化功労者3人に贈られましたが、スポーツ分野での表彰は初めてとなります。



HAPPY BIRTHDAY

今月のお誕生日

9月1日 ○○ ○○○ 様

9月23日 ○○ ○○ 様